飛鶴の森林から

発行日
平成28年11月1日 第116号
林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林ふれあい推進センター

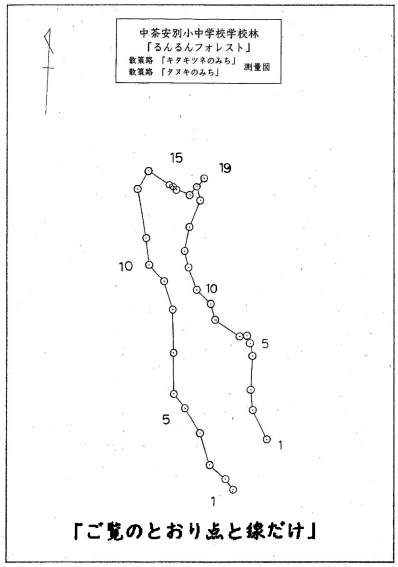
秋の学校林活動

10月24日（月）、標茶町立中茶安別小中学校で「秋の学校林活動」が行われ、釧路湿原森林ふれあい推進センターも森林観察等の講師として参加しました。

今回は、小学生低学年（1）、小学生高学年（1）、中学生（2）の4グループに別れて活動しました。

これまでの活動で、学校林の地図を作製するため、カラマツ植栽地、学校林内の道路、散策路の測量を行ってきました。

測量の結果を製図しましたが、紙に表示されるのは点と線だけ。カラマツ林の形、道の線形はわかりますが学校林のイメージが伝わってきません。



地図記号を書き入れても、針葉樹林だと、5年前に植えたカラマツも、30年前に植えたトドマツも地図記号では∧で、どちらも同じ標示になります。

ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ等の広葉樹林はQとなり、地図は∧とQの2つの記号だけになってしまいます。

そこで、植栽年の違い（木の大小）、場所（林地と湿地）によっての樹種の違い等、学校林の特徴がわかるように、記号を用いず絵によって表現することにしました。

今回の活動では、絵地図作製のための植生調査を中学生グループが行いました。

昨年、測量した散策路「タヌキのみち」と「キタキツネのみち」を歩きながら、測量したポイントを基準に「カラマツが植栽されている」「ミズナラが主体の広葉樹林」「水辺の近くでハンノキが多い」「木の下にはトクサが生えている」「ツリーハウスが建っているのが測点19」など森林のようすを測量図に書き込んでいました。

今回実施した植生調査の記録は、美術部が加筆・彩色等を行い、完成品はパネルにして学校の廊下に展示される予定です。

小学生は、学校林の広場付近で、学校林にも多く、標茶町の木にもなっているミズナラを使って、高学年グループの活動は「木の冬ごもり」。動くことができない木が、どんな寒さ対策をして冬を越すのか？ を枯葉、冬芽、年輪等を観察して。

低学年グループの活動は「どんぐりを使った活動」。地面に落ちたどんぐりを拾い集め、特徴を観察。（今年のどんぐりは、不作で実の小さい物が多いようです）地面に埋めて春になると芽をだすか？ などを秋の学校林で、それぞれ学習しました。

「散策路で植生を観察」

8月に予定していた「夏の学校林活動」が台風の影響で中止となったので、しばらくぶりの学校林活動になりました。

学校林地図の完成を楽しみにしています。

雷別ドングリ倶楽部開催

10月26日（水）、雷別ドングリ倶楽部が４回目の活動を行いました。今年は、雷別自然再生事業地で、第１回（６月８日実施）の活動で植樹。第２回（７月６日実施）の活動では下刈を行いました。また、平成26年度の活動で、笹地を刈り払い防鹿柵を設置し、以後毎年、柵内、柵周辺の草刈を地道に実施してきました。

今年に入り、柵内の笹の勢力が弱まり、笹以外の草が多くなり、ついに、柵内にたくさんのシラカバが生えるようになりました。

今回は、植えた苗木、下刈実施箇所の苗木の生育状況とシラカバ稚樹を確認してもらいました。

「ツリーシェルターを外して、苗木を確認」

さて、雷別自然再生事業地を紹介するパンフレット等には必ず、シラルトロ湖に注ぐシロルトロエトロ川の最上流部と書かれています。たしかに地図を見ると源流部で釧路湿原の流域なのは理解できるのですが、実際に雷別に行ってみると、丘陵地で緩やかな傾斜が続き、沢があるわけでもなく、浅い窪地がある程度しかも水が流れていないので、最上流部を実感できません。

そこで今回、ドングリ倶楽部のみなさんを、ご案内したのが「滝」！（雷別に滝があっ？）

いつも作業を行ったかなあ？）

ぐ近くに、規模は小さいのですが、滝があったのです。

「雷別で見つけた小さな滝」

岩の裂け目から水が湧きだし、滝となって、小さな流れがシロルトロ湖に向っています。

滝を目前で見て、流れる水音を聞き、その水に手を入れ、最上流部であることを十分に体感してもらいました。

なお、森の動物たちも、この滝を知っていて、周辺には獣道があり、水飲み場として利用しているようです。

続いてパイロットフォレストに移動。高くそびえる望楼から、黄金色へ黄葉の進む広大なカラマツ林の展望を楽しんでもらいました。

広葉樹の森を目指し森林再生を行う雷別自然再生事業地。荒地にカラマツを植え「よみがえる大地」から「すこやかな大地」そして「うるわしい大地」となったパイロットフォレスト。

秋の一日を２つの森林で、過ごしてもらいました。

今後の予定

＊11月13日（日）
２０１６「木育・森づくりフェア」
イオンモール釧路昭和

＊管内の自然情報の収集や情報提供を行っています。下記のホームページを随時更新しておりますので是非ご覧下さい。

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
〒085-0825　北海道釧路市千歳町６番11
【IP】050-3160-5787【TEL】0154-44-0533【FAX】0154-41-7305
【E-mail】h_kusiro_f@maff.go.jp
【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

国民の森林・国有林

当センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むＮＰＯ等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。